「2025大阪・関西万博における

Osaka Metroの自動運転バスの取組みについて」

2025年10月28日 大阪市高速電気軌道株式会社



舞洲P&R輸送について(概要)

走行区間 : 舞洲万博P&R駐車場ABブロック ⇔ 夢洲第1交通ターミナル間(約10.5km)をシャトル運行

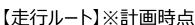
使用車両 : 大型(全長10.45m)路線バスタイプ(EVバス)、乗客定員24名(乗車時は着座)

道路側設備:磁気マーカー、ターゲットラインペイント、信号協調、スマートポール等

特 徴: 一般車が混在する一般道における大型車による自動運転レベル4 (乗務員乗車型)の自動運転

車内添乗員が特定自動運行主任者として監視し、あわせて遠隔監視室より監視の実証実験を実施







舞洲AB駐車場内をレベル4 走行中の様子



-般車が混在する夢舞大橋(片側3車線)を走行中の様子



舞洲P&R輸送について(実施報告)※速報版

運 行 便 数 : 約 2,800 便 推 計 乗 車 人 数 : 約41,800 名 自動運転での走行距離 : 約13,000 km

利用者アンケート結果

実施日:2025年10月11日(金)·12日(土) 回答数:202件

対象者:舞洲P&R自動運転バスにご乗車のお客さま

① 走行のスムーズさ

約74%の方が良いと回答

非常に良い : 28.7%

良 い : 45.0%

普 通 : 18.8%

悪 い : 6.9%

非常に悪い : 0.5%

② 安全性

約86%の方が安全と回答

非常に安全:56.9%

やや安全:29.7%

どちらでもない: 7.4%

やや不安: 5.4%

非常に不安 : 0.5%

③ また自動運転バスを利用したいか 約94%の方がまた利用したいと回答

ぜひ利用したい :41.1%

機会があれば利用したい : 53.0%

どちらともいえない : 4.6%

あまり利用したくない: 1.0%

全く利用したくない: 0.5%

舞洲P&R輸送での自動運転実証を経て得た知見・技術

運行ルート上における L2 ↔ L4 切替 ダイヤに基づく大型車両での同時 複数台レベル4走行

歩道交差箇所での レベル4走行

実証で分かった課題・対応

走行ルート上の雑草をセンサーが検知してのブレーキ作動➡万博時は除草にて対応



会場内輸送「e Mover」について(概要)

走行区間 : 西ゲート北ターミナル ⇔ リング西ターミナル間 約4.8kmを直通運行

使用車両: 小型(全長6.99m) 路線バスタイプ(EVバス)

道路側設備:ターゲットラインペイント、信号協調(基本的には車両のセンサー、カメラ等で対応)

特 徴:自動運転レベル4相当での運行

合わせて遠隔監視室より監視の実証実験を実施



【走行ルート】



大屋根リング下を走行中の様子



会場内輸送「e Mover」について(実施報告) ※速報版

運 行 便 数 : 約7,300 便 推 計 乗 車 人 数:約40,400 名 自動運転での走行距離:約35,300 km

利用者アンケート結果

実施日:2025年4月13日~10月13日 回答数:644件 対象者:万博会場内外周バス(e Mover)にご乗車のお客さま

① 自動運転バスを利用する前の 自動運転バスのイメージ(複数回答)

快適な乗車体験ができる : 21.4% 安全性が高い : 17.6%

人間の運転者がいないことに不安 : 18.6%

② 自動運転バスを利用した後の 自動運転バスのイメージ(複数回答)

快適な乗車体験ができる : 38.9%(↑17.5%)

安全性が高い : 27.4%(↑9.8%)

人間の運転者がいないことに不安:7.5%(↓11.1%)

会場内輸送「e Mover」での自動運転実証を経て得た知見

長大なGNSSが不感区間(大屋根リング下)におけるターゲットラインを用いた自動運転



2025大阪・関西万博フューチャーライフヴィレッジでの映像出展

万博会場内フューチャーライフヴィレッジでの映像展示について

万博会場内フューチャーライフヴィレッジにおいて、自動運転バス走行動画の放映を実施

期間:2025年10月7日~10月13日

場所:万博会場内フューチャーライフヴィレッジ A4スペース

内容:大型モニターに舞洲P&R輸送及びe Moverでの自動運転バスの走行風景動画を放映



出展ブースの様子



放映動画

